

## 日本産コガネムシ研究史 (4)

高橋 寿郎

本報文(3)までで1915年までの日本産コガネムシの研究史をのべてきたが尚かつ追加しなくてはならない文献があり今回はそれ等を年代順に説明すると共に3報迄の報文中訂正を要する点もここにまとめて発表させて頂く。

1863, Harold, E. v., *Beiträge zur Kenntnis einiger coprophagen Lamellicornien V. Stück.*

*Berl. Ent. Zeitschr.*, VII: 327~329.

本報文では Aphodius 35種 (番号51~85) に就いての記載で9新種, 26既知種の記載である。pp. 344~345 に A. elegans Alliberi が日本より記録されている (Japan und das nördliche China)。

1871, Harold, E. v., *Beiträge zur Kenntnis einiger coprophagen Lamellicornien VII, Stück*

*Berl. Ent. Zeitschr.*, XV: 249~287.

pp. 251~252. Aphodius solskyi なる新種を Japan und das östliche Amurgebiet から記載, 現在の知見では A. (Phaeophodius) rectus (Motschulsky) のことである。

1879, Lewis, G., *On certain new Species of Coleoptera from Japan*

*Ann. Mag. Nat. Hist.* (5) IV: 459~467.

表題のごとく日本産甲虫類26新種の記載であるがその中でコガネムシ科2新種の記載がある, 即ち p. 463, Cetonia brevitarsis (Nagasaki) = Prottaetia. Cetonia insperata (Yezo) = Prottaetia lugubris insperata Lewis.

1884, Lewis, G., *On a new species of Copris from Japan*

*Wien. Ent. Ztg.* III, Heft. 1: 17-18.

日本産 Copris pecuarius Lewis ミヤマダイコクコガネの新種記載である。日光近辺には極めて多産し, 中仙道のいくらかの地点でも見出されたとある。

1887, Lewis, G., *Note on a new species of Osmoderma and a Trichius from Japan*

*Wiener Ent. Znt. Zeit.* VI, Heft. 2: 49.

Osmoderma opica なる新種記載をヨーロッパ産 O. eremita Scop. と比較して発表。記載に使用した標本は3♀♀, August, 1881, Chiuzenji, Nikko and Imaichi.

Trichius viridiopacus なる新種記載 (現在 Gnorimus 属), 3 exs. Chiuzenji.

Trichius succinctus Pallas の日本から始めての記録 (Kioto, Nikko and Sapporo) あり。

1887, Lewis, G., *On the Cetoniidae of Japan, with Notes of new Species, Synonymy and Localities*  
*Ann. Mag. Nat. Hist.* (5) XIX: 198~202.

Waterhouse が日本産としてハナムグリ亜科を12種記録 (1875) したがここに Lewis は12種を追加 (2新種をふくむ), 日本産24種に就いてシノニム並びに産出状況に就いても記録されている。若干学名に就いて訂正すべきものがあるので次に記しておく。

p. 198. 1. Cetonia confusiusana Thoms. = Prottaetia orientalis Gory et Percheron 尚ここで P. speculifera Swartz は日本に産しないことを記している。

2. Cetonia submarmorea Burm. これも上と同一種。

3. Cetonia brevitarsis = Prottaetia. 4. Cetonia insperata = Prottaetia. 5. Cetonia lenzi = Prottaetia.

p. 200. 2. Gnorimus subopacus を Sapporo で得たとあるがこれは現在 Lewis も対島で 5 exs. 採集したとあ

るように対島、朝鮮、シベリヤに分布している種のようなものである。3. *Trichius septemdecimguttatus* Voll. = *Paratrichius*. p. 201. 1. *Valgus angusticollis* = *Nipponovalgus*. 2. *Valgus fumosus* 新種記載。3. *Valgus tuberculatus* 新種記載 = *Dasyvalgus*.

1887, Heyden, L., *Verzeichniss der von Herrn Otto Herz auf der chinensischen Halbinsel Korea gesammelten Coleopteren*

*Hor. Soc. Ent. Ross. XXI: 243~273.*

表題のごとく Otto Herz の採集した朝鮮半島の甲虫類の目録であるが日本産の記録も可成り含まれている。クワガタムシ科で5種、コガネムシ科で26種(学名の検討はせず目録に記録されたまま数えた)。p. 253 に *Mimela lucidula* var. *corusca* Heyden を日本より記録している。現在 *M. splendens* Gyll. の form として取扱っている。

1893, Jacobson, G., *Eine neuer Geotrupes aus Japan.*

*Horae Soc. Ent. Ross. XXVII: 120~121.*

*Geotrupes sterocorcarius* Linné の変種として日本から (Jeso, A. Birula. VIII, 1889) var. *amoeus* Jacobson を記載しているが現在日本にどうか疑問種。

1897, Fairmaire, L., *Description de six Coléoptères de l'île Ishigaki-Sima*

*Bull. Soc. Ent. Fr. pp. 68~70.*

p. 69 に *Onthophagus lutosopictus* なる新種が記載されている。その後全く本種は採集されなかった種であるが1970年に後藤光男氏は1969年竹富島にて採集された。

もので記載されている(昆虫学評論, 22-2: 91~92), 中條博士も石垣島から記録されている(Mem. Fac. Edu. Kagawa Univ. II-192: 9, 1970) :

1915, Moser, J., *Neue Melolonthiden und Cetoniiden (Col.)*

*Deut. Ent. Zeit. Heft. VI: 579~605.*

インド、フィリピン、台湾、支那、ボルネオあたりを中心とした24新種が記載されている。pp. 598~599 に Formosa (Tainan) より *Dasyvalgus formosanus* なる新種記載があるが本種は現在西表島に分布している。

\* \* \* \* \*

○(2), 1898年の Brenske の論文は1894年の間違い、したがってダブって記してあるので1898年の方を取消します。

○(3), 1903, Heyden, Hor. Soc. Ent. Ross., XXIとしたのは1887年の間違い、本報文追加文献中に解説してあるのでそれを参照下さい。

○(3), 1915, Ohaus, F., Nachtrag zur Rutelinenfauna Formosa (Col. Lamell.) として解説したのは1925年の誤りにつき訂正しておきます。

○(3), 1915, Moser, J., *Neue Serica-Arten (Col.)* の中で p. 340 に *Autoserica infuscata* なる新種が Korea, China から記載されているがこの種は対島に産することが知られている(村山, 1954), このことが前回抜けていたのでここに追加しておきます。

(29-IV-1972)